

「深さをもった演劇のまちづくり」による文化芸術を通じた地域振興

取組のあらまし

取組団体 兵庫県豊岡市

取組内容 「深さをもった演劇のまちづくり」として地域経済の活性化を図るために、演劇にフォーカスした多様な取組を展開。地域住民に演劇を通じた創造性の醸成やコミュニケーション能力の磨き上げといった人材育成を行った上で、地域住民・観光客等に向けた演劇の上演やアートイベント等を展開

推進体制 5名（令和6年度）

予算等 4,500千円（市負担金：令和6年度）

1 兵庫県豊岡市の概要

人口 7万6,574人 令和6年1月1日現在（住民基本台帳人口）

職員数 532人 令和6年4月1日現在（一般行政部門）

総面積 697.55km² 令和6年1月1日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 1 兵庫県豊岡市の位置図



出所：豊岡市ホームページ

(<https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/shinoshokai/1023950/1023568/index.html>)

2 取組の背景・目的

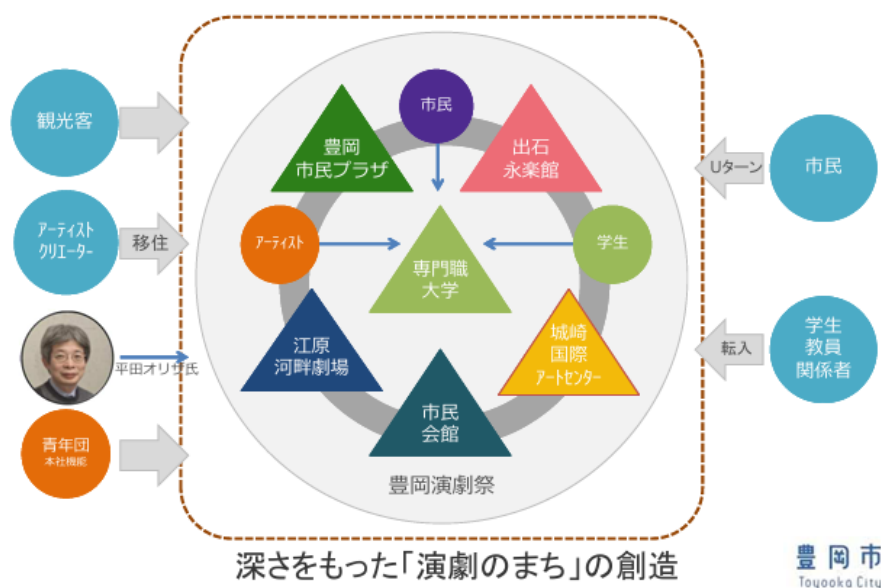
豊岡市は、城崎温泉などの観光業が盛んではあるものの、過疎化が深刻化し、人口減少と高齢化が地域の大きな課題となっている。農業や漁業の衰退に加え、若者の流出が加速し、地域経済の停滞が問題視されてきた。このような状況の中、文化芸術を通じた地域振興の一環としてスタートしたのが「深さをもった演劇のまちづくり」である。

取組のきっかけとなったのは、2014年に開設された城崎国際アートセンター（KIAC）におけるアーティスト・イン・レジデンス事業であり、国内外のアーティストが滞在し、地元住民と交流を図る場となった。演劇の力を活用することで、地域の課題解決を図ろうというこの試みは、著名な劇作家であり演出家である平田オリザ氏の協力を得て進められた。2020年からは豊岡演劇祭が開催され、2021年には平田氏が学長を務める芸術文化観光専門職大学が開学され、演劇に関心をもつ青少年や、舞台芸術関係者の注目を集めている。

豊岡市の「深さをもった演劇のまちづくり」は、単なる文化イベントに留まらず、地域住民の非認知能力を育む場としても機能している。特に、演劇の授業を通じて子どもたちの創造性やコミュニケーション能力の向上が期待されており、次世代の地域リーダーの育成にも寄与している。さらに、この取組は観光客を呼び込む役割も果たしており、演劇の上演やアートイベントを通じて地域経済の活性化が図られている。

豊岡市は、住民、アーティスト、行政が一体となり、多様な価値観を受け入れることで「深さをもった演劇のまち」としてのブランドを確立しつつある。演劇を通じた人材育成や観光促進を目指す取組は、持続可能な地域社会の構築にも貢献しており、過疎化が進む中での地域再生のモデルケースとして注目されている。

図表 2 豊岡市における文化芸術による地方創生の推進



出所：深さをもった演劇のまちづくり（2021年7月20日地方創生戦略会議）

3 取組内容

(1) 城崎国際アートセンター（KIAC）とアーティスト・イン・レジデンス

城崎国際アートセンター（KIAC）は、兵庫県豊岡市が運営する舞台芸術を中心とした芸術活動のための滞在制作（＝アーティスト・イン・レジデンス）を行うアートセンターである。1300年の歴史を持つ関西有数の温泉街である城崎温泉に建てられた旧・城崎大会議館をリニューアルし、2014年に開館した。ホール（劇場）、6つのスタジオ、最大22名が宿泊可能なレジデンスやキッチンなどで構成され、アーティストが城崎のまちに暮らすように滞在し、創作に集中することのできる施設として、開館以来高い評価を受けている。

年間を通して実施しているアーティスト・イン・レジデンスプログラムでは、年に1回の公募によってアーティストを選定し、その滞在制作を支援している。滞在アーティストは滞在期間中に、市民に自身の創作活動を公開する「地域交流プログラム」を実施する。主催・製作での公演事業のほか、インターンシップによる人材育成事業にも取り組むなど、豊岡市の芸術文化戦略の拠点施設として、豊岡演劇祭や2021年に開学した芸術文化観光専門職大学と連携した事業運営を行っている。

図表 3 城崎国際アートセンター（KIAC）の全景とホール



©西山円茄



©西山円茄

出所：KIAC ホームページ

（2）豊岡演劇祭

2020 年から開催されている豊岡演劇祭は、国内外から約 70 の団体が参加し、豊岡市全体を舞台に繰り上げられる大規模な舞台芸術祭である。演劇、ダンス、ストリートパフォーマンスなど、多様なジャンルのプログラムが提供され、劇場だけでなく、温泉街、神社、海岸、高原など、地域の様々な場所で上演されている。これにより、地域の魅力を再発見しながら、観客はアートと自然を融合した独自の体験を楽しむことができる。演出は平田オリザ氏が担当し、地域振興や国際交流の場ともなることを目的としている。

このイベントは、単に舞台芸術を鑑賞するだけでなく、観客が豊岡市の風景や歴史的な名所を巡りながら、多様なパフォーマンスに触れることができる点が特徴である。地元住民も積極的に参加し、地域全体が一体となってこの芸術祭を盛り上げている。豊岡市の「深さをもった演劇のまちづくり」の一環として開催されるこの豊岡演劇祭は、文化と経済の活性化を目指しており、豊岡を国内外にアピールする重要なイベントに成長している。

図表 4 豊岡市演劇祭



出所：芸術文化観光専門職大学（CAT）ホームページ

（3）芸術文化観光専門職大学

芸術文化観光専門職大学（CAT）は、2021 年に開設された「芸術文化と観光の 2 つの視点を学ぶ」公立（兵庫県公立大学法人）の専門職大学で、地域資源を活用した実践的な学びを提供している。学生は約 300 名で、企業や地域と連携した臨地実務実習を通じて実務経験を積むことができる。

プログラムは、芸術文化と観光分野を融合させた実践的な学びが特徴で、地域資源を活かしたプロジェクト型学習が行われている。授業は、観光事業の企画運営や文化芸術イベントのプロデュースに焦点を当て、地域社会や企業と連携した実習も豊富に用意されている。また、国際交流プログラムも充実しており、グローバルな視点を養うことができる。

図表 5 芸術文化観光専門職大学（CAT）における取組



出所：芸術文化観光専門職大学（CAT）ホームページ

4 成果・課題

（1）取組の成果

豊岡市は、住民、アーティスト、行政が一体となり、多様な価値観を受け入れることで「深さをもった演劇のまち」としてのブランドを確立しつつある。演劇を通じた人材育成や観光促進を目指す取組は、持続可能な地域社会の構築にも貢献している。

こうした取組は、「スポーツ文化ツーリズムアワード 2021 文化ツーリズム賞」（スポーツ庁・文化庁・観光庁）、「第 20 回関西財界セミナー賞 特別賞」（関西経済同友会）、「令和 5 年度 ふるさとづくり大賞 団体表彰（総務大臣表彰）」（総務省）を受賞するなど、過疎化が進む中での地域再生のモデルケースとして注目されている。

また、豊岡演劇祭の来場者数は、2020 年度（第 1 回）の 6,547 人から 2024 年度には 36,225 人へと約 5.5 倍に増加しており、関係人口の拡大にも寄与している。

図表 6 年度別「豊岡演劇祭」来場者数（延べ人数）



出所：豊岡市提供資料をもとに当機構で作成

（2）今後の課題

今後の課題として、以下の点が挙げられる。

ア 住民の一層の巻き込み

地元住民が積極的に「深さをもった演劇のまちづくり」に参加していくには、さらなる意識向上が必要であり、いかに演劇文化の理解を広げ、住民が主体的に関わることができる仕組みづくりをするかが課題である。

イ 持続的な資金の確保

豊岡市の演劇活動や演劇祭は、補助金や寄付金に大きく依存しており、将来的な財政基盤の安定化が不可欠であるため、民間資金や観光収益、チケット収益などの強化が課題である。

ウ 交通と宿泊インフラの整備

演劇祭開催時には観客が増加するため、宿泊施設の不足や限られた交通手段が問題となっている。これらの課題に対処するために、開演・終演に合わせた無料臨時バスの運行や宿泊予約情報の共有などを行っているが、持続可能な解決策を見出すことが課題である。

エ 観光との連携強化

演劇祭を観光資源としてさらに活用するために、地元の温泉や食文化との相乗効果を高める施策が必要である。観光と演劇を結びつけた戦略的なプロモーションや、訪問者を継続して引きつける仕組み作りが求められている。

オ 地域外からの人材確保

豊岡市がアーティストやクリエイターを呼び込んでいるが、地域内での定住化や、彼らが持続的に活動できる環境の整備も重要な課題となっている。

関連・参考資料

豊岡市ホームページ「深さをもった演劇のまちづくり」

<https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/chihososei/1019168/index.html>

エンタメ特化型情報メディア スパイス 「「深さをもった演劇のまち化」する兵庫県豊岡市、そのキーマンに聞く座談会②～平田オリザ×中貝宗治×田口幹也×原良式 /コミュニケーション教育と国際観光芸術専門大学（仮称）」

<https://spice.eplus.jp/articles/225115>

芸術文化観光専門職大学（CAT）ホームページ

<https://www.at-hyogo.jp/>

城崎国際アートセンター（KIAC）ホームページ

<https://kiac.jp/>

ふるコネ

<https://furu-con.jp/articles/53>